

鷺宮小学校・西中野小学校統合委員会 要点記録

第 20 回

開催日時	令和5年7月20日(木) 午後6時30分～8時11分	
開催場所	鷺宮区民活動センター分室	
出席者	委員	高橋洋雄、宮内信子、田村邦彦、秋山芳三、内野浩二郎、 瀬尾圭、山口博史、堀井裕子、黒木伸子、安田秀美、 古屋悦代、浦野雅晴、高橋俊之、高橋明、大木美香、佐藤恵、 渡邊健治 (敬称略、名簿順)
	事務局	学校再編・地域連携係
	その他	子ども教育施設整備係
会議次第	【議事】 1 校章の検討について 2 校旗について	

第20回 鷺宮小学校・西中野小学校統合委員会 会議要旨

1 開会

委員長

これより第20回学校統合委員会を開催する。本日、傍聴希望者がいるが、傍聴についてこれを許可してよろしいか。

—異議なし—

委員長

傍聴者は、傍聴券の裏側に記述されている注意事項を守り、議事の進行を妨げないように願います。

2 報告

報告(1) 中野区立学校設置条例の一部を改正する条例について

委員長

中野区立学校設置条例の一部を改正する条例について、事務局の説明を求める。

事務局

鷺宮小学校と西中野小学校を統合し、鷺の杜小学校を設置することを盛り込んだ中野区立学校設置条例の一部を改正する条例を中野区議会第2回定例会に提案し、7月7日に可決された。これにより、令和6年4月に鷺の杜小学校を開校することが正式に決定したため、校名について「(仮称)」は用いず、「鷺の杜小学校」とする。

委員長

今の説明について、何か質問・意見はあるか。

—意見なし—

報告（２）学校指定品について

次に、学校指定品について、事務局の説明を求める。

事務局

学校指定品については、第18回統合委員会でいただいた意見を受けて、両校と事務局で選定を進めている。品目は、体育着のシャツとパンツ、水泳帽子、通学帽子、紅白帽子とすることが決まった。デザインについては検討中のため、決まり次第ご報告する。

委員長

今の説明について、質問・意見はあるか。

委員

全学年通学帽子をかぶるということに決まったのか。

事務局

そうである。

委員

通学帽子をかぶることによって、鷺の杜小学校の児童だということが分かり、夜遅くに児童が歩いていた時などに地域の方が声をかけやすくなり、児童の安全につながる。また、震災時などに落下物から頭を守ったり、集団で行動するときの目印になる。1年生の黄色帽子の着用については決まっていないが、2年生以上は通学帽子をかぶるようにし、学校の目印としたい。

3 議 事

議事（１）校章の検討について

委員長

議事に入る。校章の検討について、事務局の説明を求める。

事務局

前回の統合委員会で、校章デザインの募集結果をもとに、統合新校にふさわしい校章について協議し、投票の結果、上位6点をデザイン業者にデジタル化及びアレンジを依頼するものとして選定した。デザイン業者にデジタル化、アレンジしてもらったものが資料2のとおりで、全部で24通りある。なお校章は、校旗等に刺繍されるため、デザイン業者には刺繍可能なデザインにアレンジするよう依頼した。例えば、応募デザインのうち1番の月桂樹の葉や、1番と3番の校名のローマ字表記は刺繍するには細かすぎるため、大きくするなどのアレンジをしている。鷺の杜小学校の校章の選定にあたっては、金糸と銀糸で刺繍することを想定して検討いただきたい。また、それぞれの校章の由来の案も確認いただきたい。

本日の協議では、鷺の杜小学校の校章としてふさわしいと思われるものを1点選定していただくが、最終候補を1点選定した後に、字体や配色など、さらに修正が必要であれば、その意見をまとめていただきたい。修正があった場合、修正デザインの確認と、最終的な決定については、委員長、副委員長、学校、事務局に一任いただきたい。

なお前回、4番のデザインについては、企業ロゴと似ているため確認が必要との発言があったため、デジタル化した画像について、インターネット上で類似画像検索を行ったところ、話が出ていた企業のロゴが類似画像として表示された。これを引き続き候補とするかは委員の皆さんの判断にはなるが、事務局としては、こちらはやはり校章としては適さないのではないかと考えている。

校章の検討について

<校章デザイン候補>

元デザイン	デジタル化・アレンジ版				校章の由来(案)
1 (元番号 35)	1-A 鷺の杜	1-B 鷺の杜	1-C 鷺の杜	1-D 鷺の杜	かつて、鷺の杜小学校周辺の田んぼが広がる緑豊かな地域に訪れていたといわれる鷺と、子どもたちとその保護者、地域の人々が集い、子どもの成長を育む学びの杜として月桂冠を表現しました。 子どもたちが輝かしい未来へ向かって、大きく羽ばたいてほしいという願いを込めています。
2 (元番号 36)	2-A 鷺の杜	2-B 鷺の杜	2-C 鷺の杜	2-D 鷺の杜	小の文字を学びの杜である鷺の杜小学校に見立て、かつて緑豊かなこの地域に訪れていたといわれる美しい鷺が暖かく包み込んでいる姿を表現しています。 鷺の杜小学校から子どもたちが輝かしい未来へと大きく羽ばたき、地域に愛される小学校として繁栄して欲しいという願いを込めています。
3 (元番号 37)	3-A 鷺の杜	3-B 鷺の杜	3-C 鷺の杜	3-D 鷺の杜	鷺の杜小学校の周辺は、かつて田んぼが広がる緑豊かな地域で、田や川に多くの鷺が訪れていました。 校章には樹木に囲まれて鷺が向かい合う様子が描かれています。子どもたちが、この学びの杜で保護者や地域の人々に支えられながら、互いに思いやりの心を持ち、のびのびと成長して欲しいという願いを込めています。
4 (元番号 84)	4-A 鷺の杜	4-B 鷺の杜	4-C 鷺の杜	4-D 鷺の杜	かつて、緑豊かなこの地域に訪れていたといわれる美しい鷺が杜を守り、羽ばたいていく姿を表現しました。 中央の2本の線は妙正寺川ほとりの鷺宮小学校と西中野小学校の2校を表しています。鷺が見つめるくちばしの先は、子どもたちの明るい未来を指し示しています。 (※4-B、4-Dを選択した場合、下線部分は削除。)
5 (元番号 89)	5-A 鷺の杜	5-B 鷺の杜	5-C 鷺の杜	5-D 鷺の杜	鷺の顔にも見える中央の模様は新緑の芽で、これから大きく成長する子どもたちを表しており、まわりの模様は、鷺が強く羽ばたく様子を表現しています。 子どもたちが、保護者や地域の人々に支えられながらのびのびと成長し、この学びの杜から大きく社会に羽ばたいてほしいという願いをこめています。
6 (元番号 105)	6-A 鷺の杜	6-B 鷺の杜	6-C 鷺の杜	6-D 鷺の杜	大きく翼を広げて天を見上げる鷺は、鷺の杜小学校の子どもたちを、右側には、保護者や地域の人々が集い、子どもたちを育てる杜を表現しています。 ここに描かれた鷺のように、しっかりと成長した子どもたちが、この杜から羽ばたいてほしいという願いを込めています。 (※6-C、6-Dを選択した場合、下線部分は削除。)

<参考：字体のパターン>

ゴシック体	丸ゴシック体	明朝体	教科書体
鷺の杜	鷺の杜	鷺の杜	鷺の杜

委員長

それでは、4番を候補に含めるかもあわせて、デザインについて一人ずつ意見を求める。

委員

1-Dが良い。

委員

1-Cが良い。

委員

4番を外すことは賛成である。良いと思うのは5-Bだが、字体を少し変えても良いのではないか。

委員

1-Bか1-Cが良い。

委員

この中から自分がいいと思うものを選ぶのか、それとも選び方も含めて意見を言うのか。

事務局

皆さんからデザインを見た感想などについて意見を言っていただき、それを踏まえて、選定方法についても発言いただきたい。

委員

前回投票で選んだのに、ここに来てまた意見を言うことに意味があるのか。意見出しの目的が分からないと、時間ももたない。意見を述べて多かったものを選ぶのであれば、考え方を変えなければいけない。

委員

一旦は、皆さんがどういう選定方法が良いかやどれが良いかなど意見を聞けるとありがたい。自分が選定する材料にもできるので、自由に発言いただけるとありがたい。

事務局

これまでの統合委員会でも、アレンジ版に対しても、感じたことや気になるところなど、選定方法も含めて自由に意見を言っていただき、その後、投票するなどして選定していた。

委員

小学生なので可愛い感じの校章でも良いと思う。選び方は、まずは1番から6番のどれが良いかを投票したら良いのではないか。

委員

懸念があるものは無理に選ぶ必要はないので、4番は外して良いと思う。選ぶとすると5番、特に5-Bが良い。細かすぎるものは何を表しているのか分からない。校章は見た瞬間に認識できるようなシンプルなものが良いと思っている。2羽の鷲が向き合って、一つの中におさまっているように見えたので、統合校というイメージもつきやすいのではないか。選定方法は投票で、一人2票か3票選んだら良いと思う。

委員

私も4番は外して良いと思う。アレンジ版が、もとのデザインから結構変わっているという印象を受けたが、応募した方は、意図的に名称を入れなかったりしていると思うので、そこを変えてしまうのは良くないと思う。なるべく応募デザインから変えず、刺繍が可能な程度に修正したものを選びたい。私は6番、特に6-Aを推したい。とてもシンプルで格好良い。選択方法は、今までどおり投票で決めていくのが良い。

委員

私は、5番のどれかが良い。4番は外したほうが良いと思う。決め方としては、やはり投票で2つ程度選んで多いものとしたら良いのではないか。

委員

私も4番は外して良いと思う。説明文としても、鷲宮小学校と西中野小学校の2校を示しているとあり、新校をつくるという意味合いからも外れている。一番良いのは6番である。シンプル

で、校名がない方が良いと思っている。子どもにとっては2番も良さそうなので、まだ決めかねている。

委員

4番は見てすぐに某清酒会社のイメージが沸いたので、外すべきだと思う。私はなるべくシンプルなほうが良いと思っているので、1、2、3番などよりも6番が良い。「鷺の杜」のロゴは入れたほうが良いと思うので6-D、ロゴはなしとするのであれば6-Aが良い。字体は丸ゴシックが良いと思う。決め方は投票方式で良いのではないか。

委員

4番は外し、5番か6番と思っていたが、5番は説明を見れば鷺が強く羽ばたくのをあらわしていると分かるが、パッと見ると分からないので、6番が良い。シンプルで、想像力が働かし、鷺と杜をあらわす木のようなデザインが素敵である。校名がなくても、このマークだけで鷺と杜をあらわしている。

委員

私も、4番は外して良いと思う。2番は優しさは伝わるが、鷺が杜を下向きに囲んでおり、子どもが未来に向かって羽ばたいてほしいという思いと少し異なる。個人的には、最初に見たときには6番も素敵だと思ったが、新校なので思い切って今までのデザインとは違うものをという意味で、1番が良いと思う。

委員

私も4番は外して良い。良いのは3番である。鷺が2羽にも1羽にも見え、子どもに好まれそうである。

委員

2番は鷺が羽で杜を包んでいるが、西中野小学校の校章が、これを逆転して下から上に子どもたちを守っているようなデザインで少し近いので、新校は変えた方が良い。校章の由来は、デザインが決まった後に新たにつけ加えたり、統合委員会の思いを入れれば良いのではないか。また、応募デザインから様々なアレンジが加えられているが、少しのアレンジは良いが、ローマ字表記を漢字に変えるなど大きなアレンジはしないほうが良いと思う。良いと思うのは、これまでの校章のイメージと変えて3-Aである。和風であれば5番も良い。

委員

4番を外すのは賛成である。デザインは未来に羽ばたくイメージのものであれば、どれでも良いと思うが、最初にデザインを見たとき、3番が可愛らしく、子どもたちが普段見ているものに近く良いと思った。デザインが応募デザインより簡略化されているが、応募デザインの良さを生かして欲しい。

委員

校名について検討した際に、漢字や「の」を入れるのかなど、色々な角度から検討したので、校名は入れたほうが良いと思う。ローマ字や「の」を入れていないものもあるが、これまでの議論を踏まえるならば「鷺の杜」というロゴを入れた日本語が良いのではないか。デザインは1番が可愛らしく良いと思う。

委員長

私は、鷺が羽ばたいている6番が良いと思っている。

委員

今日1個に決めなければいけないのか。

委員長

そうである。

事務局

選び方は投票が良いという声が多かったが、投票にするか、更に議論するか、どうするか。

委員

投票で良い。まずは番号を決める選び方もあるし、5-A、3-Cなど1つずつに投票して決

めるという方法もあると思う。

副委員長

番号で決めるとは、4番を外した5種類の中から1つ番号を選ぶということか。

委員

そうである。3-Bは良いが3-Dは良くないというような意見がなければ良いと思う。

委員

明和中学校の校章を決めるときも、グループを選んでから、そのグループのどれにするか選んだ経緯があった。そうした方が、絞られて早いと思う。

委員

主観で話し合っても決まらないので、今言われているとおり、まず1、2、3、5、6から選び、その後にその番号のA、B、C、Dで選ぶのが良いだろう。

委員長

では、挙手で決を採るということで、よろしいか。

—異議なし—

委員長

では、挙手をお願いします。

—各自挙手（1番5名、2番0名、3番3名、5番4名、6番5名）—

委員長

1番と6番が同数なので、この2つで挙手をお願いします。

—各自挙手（1番10名、6番7名）—

委員長

採決の結果、1番となった。次に、1番のAからDのどれにするか、挙手をお願いします。

委員

ここからデザインは変えられないのか。

事務局

字体を変えるなどは可能である。

委員

応募デザインにより近くすることはできるか。

事務局

応募デザインはかなり細かなデザインであり、これほど細かな葉などは、校旗に刺繍するのは厳しいと刺繍業者から言われている。

委員

校章の配色はどうなるのか。それによってイメージが全然違う。

事務局

校章が決まったら、刺繍業者に配色のパターンを複数出してもらい、決める。

副委員長

校旗の生地の色によっても変わってくる。

委員

なるべく応募デザインに近くするという想定で、4つのうちから1つ選ぶでも良いか。

委員

「の」の字が抜けて「鷺杜」になっているものもあり、何か違うと感じる。

委員

BとCを組み合わせれば、「鷺の杜」と入って、しかも下にも入っている。だから、この中から選べと言われても難しい。

委員

CとDはそもそも校名の漢字が入れられていない。

副委員長

校名は下にローマ字で入れている。

委員

Bには、「SAGINOMORI」というのが入っていないから、これに組み合わせて入れるなどという、注文はできるか。

事務局

少しの修正は可能なので、1-Cにするが「の」を入れたいなど、そういった意見をまとめていただきたい。

委員

明和中学校の校章を決めたときは、1つ決めた後に、さらにブラッシュアップしたものを何個が出してもらって、投票したので、それでもいいのではないか。

事務局

その場合は、臨時会を開催することになる。

委員

この場で、皆で修正したい点を話し、4つのパターンに、皆の意見をまとめたパターンを追加した5つのパターンから投票しても良いのではないか。

委員

1-Bは羽がシンプルすぎて応募デザインから離れてしまっている。

委員

羽がきれいに入っていたほうが良い。

委員

一応、1番を選んだのだから、あとは校名を入れるかなど、注文すればいいのではないか。このためにまた臨時会と言われても、そのときに決まるか疑問である。

委員

我々は元の応募デザインを気に入って候補に選んだので、応募デザインに一番近いデザインを選ぶべきだと思う。洋風なものを選んだのに、漢字の「鷺の杜」や「鷺杜」があると、もとの現代風なデザインではなく、少し重い印象になる。あと、羽はもう少し細かく、応募デザインに近くできるのではないか。

委員

事務局から、ここで決めたものに、アレンジを加えるかどうかを決めて、あとは校長先生と委員長、副委員長、事務局とで決めるというお話だったので、応募デザインに漢字を入れるか、入れないかなど、そういうところだけを決めて、あとは一任するという流れが良いのではないか。

委員

やはり応募デザインになるべく忠実であるべきだと思うので、1-Aが良いのではないか。校名はローマ字が入っているので、このままでいいと思う。校旗には校章の横に校名が漢字で刺繍されるので、校章としてはこのデザインで良い。

委員長

「鷺の杜」という字は入れないということか。

委員

入れないほうがすっきりして良いのではないか。

委員長

では、1のデザインで漢字名を入れるかどうか、挙手をお願いします。入れたほうがいい方。

—挙手1名—

委員

入れないという意見が大多数であれば、1-Aで良いということではないか。

委員長

では、1-Aでよろしいか。

—異議なし—

高橋委員長

では、1-Aとする。修正はどうか。

委員

先ほどから話が出ているように、応募デザインにできるだけ近づけてもらいたい。刺繍の配色は、校長先生と委員長、副委員長、事務局に一任で良い。

委員

由来はこのままなのか。

事務局

校章の由来は、校名の由来をもとにつくった案であり、意見があれば伺いたい。

委員

鷺はまだ訪れているが、「かつて」と言うと、もう来ないように感じる。

事務局

校名の由来では、地域の歴史に思いを馳せるという意味で「かつて、田んぼとかがあった緑豊かな地域に鷺が訪れていた」というのを入れている。

委員

校章の由来は、もう一度再考したほうが良い。校名の由来にも入っている文章は除き、「羽ばたく」や「成長を育む」というようなところを前面に押し出して、校名と少し違った視点で書いたほうが良いのではないか。

事務局

意見をうけて、今後、学校や委員長、副委員長と話し、修正することとしたい。

委員長

それでよろしいか。

—異議なし—

議事(2)校旗について

委員長

次に、校旗について、事務局から説明を求める。

事務局

校旗については、校章が決まったら、業者に制作を依頼し、2月に開催予定の統合委員会で、校歌と併せて披露できるよう準備を進める。横長の長方形で、濃い色の生地を使用し、校章や校名の刺繍部分には金糸や銀糸を使用する。金糸、銀糸の刺繍の仕方や生地の色など、細かな部分は、両校と事務局に一任いただきたいが、委員からも意見があれば伺いたい

委員

最近の統合校の校旗は、ほとんどブルー系統なのはなぜか。

事務局

それぞれ学校のほうで選んでいるが、スクールカラー自体が青というところも多い。

委員

スクールカラーは、いつ決まるのか。統合委員会からは特に意見は言えないか。

事務局

学校のほうで今後検討していくが、検討の際の参考として、意見があれば伺いたい。

委員

通学帽子の色やデザインは決まったのか。

事務局

今、調整しているところである。

委員

スクールカラーは、私の中では緑と思っているのですが、校旗は緑とってしまうが、鷺が飛んで

いるから、青でも良いかもしれない。どのようにスクールカラーが決まっていくのか気になる。

委員

ブルー系統だと他校と同様で目印にならないかもしれない。「鷺の杜」から、空を羽ばたくということならブルー、杜なら緑、などという声も聞きながら、色見本を見て選んでいきたい。

委員

近隣の美鳩小学校がブルーなので、ブルーはない可能性もあるか。

委員

明るい青なのか、濃いめの青にするかという違いもある。絶対に嫌な色や、希望の色があれば伺いたい。

委員

校旗は、掲揚しているものか。

委員

掲揚するものではなく、式典のときなどだけ使用するものである。

委員

資料3に掲載されている他校の校旗は赤と青だが、そういう規制があるのか。

事務局

生地は、この他にも色々な色がある。

委員長

様々な意見が出たが、校旗の詳細は、学校と事務局に一任するというところでよろしいか。

—異議なし—

4 その他

委員長

次に、校歌について、事務局から説明を求める。

事務局

前回の委員会で、校歌の制作は若松欽氏に依頼すると説明した後、ご本人に依頼し、作詩と作曲をお引き受けいただいた。若松氏には、学校の校名の由来をもとに制作すること、新しい学校をイメージした校歌とすること、鷺宮小学校と西中野小学校の現在の校歌で使われているフレーズは使用しないことを伝えた上で、一般募集した校歌のフレーズは全て渡してある。校歌は2月に開催予定の統合委員会で、校旗と併せて披露する予定である。

委員長

今の説明について、質問・意見はあるか。

—質問・意見なし—

委員長

次に、通学路の検討状況について、事務局の説明を求める。

学校再編・地域連携担当課長

前回、鷺の杜小学校の通学路について、学校とPTAと一緒に検討していくと説明したが、6月に西中野小学校と同校PTAと打合せを行った。PTAから危険箇所などの情報をいただき、現在検討を進めている。踏切の滞留場所については、候補として、鷺宮西住宅の敷地内を利用させてもらうよう依頼をしている。今後、具体的な通学路を検討していく。

委員長

今の説明について、質問・意見はあるか。

委員

滞留場所が鷺宮西住宅であれば、通学では主に2号踏切を横断するということがか。

学校再編・地域連携担当課長

まだ、どの踏切を通学路とするかは決定していない。

委員

3号踏切のほうが近い児童もいると思う。

委員

6月の打合せでは、PTAが1号踏切から4号踏切の4本の経路について実地調査した結果を報告したうえで、3号踏切と4号踏切は車や自転車の往来が非常に多く、退避場所がないので、電車より危ないのではないかとといったことや、児童を複数の踏切で登校させていると、事故等で踏切が長時間開かない時などに、学校側の対応が非常に難しいのではないかという話をした。通学路は事故時など最悪のケースを想定して決めたほうが良い。車両が通らず一番安全に待機できる2号踏切に児童を集中させれば、何かあった際に、先生が鷺ノ宮駅を通過して、2号踏切の退避場所まで行き、指示ができる。1号踏切から4号踏切まで4つ選択肢があったとしたら、全ての場所まで行かなくてはならず、児童の把握が難しいことから、横断するのは2号踏切が良いのではないかという話をした。

委員

下校時はそれほど人数が多くないが、登下校で同じところを通ることになるのか。2号踏切はどう見ても狭いが拡幅しないのか。また、鷺宮西住宅の待機場所は踏切より離れており、踏切に移動するまでに遮断機が閉まってしまうなどで、全員が渡れず、学校に間に合わない児童が出てきてしまうのではないか。先生方が、朝の指導をできるのかも疑問である。

委員

通学路についてはPTAが決めることではないが、遅刻しないかではなく、安全を一番に考えなければならず、分散させるより、集中させたほうが、安全だろうという話をした。

委員

跨線橋の計画は進んでいるのか。何年度にできるなど目処はあるのか。

学校再編・地域連携担当課長

まだ決まっておらず、目処もないという状況である。西武新宿線の立体交差化事業がどうなるか分からないこともあり、関係部署でもどうすべきか検討しているところである。

委員

西武新宿線の立体交差化を待っていたら何十年もできないので、そこを理由にせず、工事を進めてほしい。統合委員会であれだけ皆が要望していたのに、まだ進んでいないのか。何年後かの設置を目指しているなどの言葉があれば、そこまではPTAや地域に協力してもらって頑張っていこうとなるが、全く目処がないと言われると、もう自分が生きているうちには出来ないのではないかと思える。

委員

西武鉄道との交渉の場は設けられたのか。

学校再編・地域連携担当課長

西武鉄道とは、実際に工事をする部署も一緒に話はしたが、具体的な目処を示せる所には至っていない。

委員

次回の打合せは、予定されていないのか。

学校再編・地域連携担当課長

現時点では、まだ決まっていない。

委員

次がないということは、もうその話はやらないという認識でしか受け止められない。以前、コンサルタントが入って、跨線橋や地下通路の検証をしたとのことだったが、その結果を西武鉄道に伝えて、西武鉄道から工事を止められているということなのか。西武新宿線が高架化か地下化か決まっていないので、区が橋をつくっても良いが、高架化になったらあとで壊すようになど、そういう話があるのか。

学校再編・地域連携担当課長

そういう話にもなっておらず、つくって良いとも言われていない。

委員

西武鉄道を優先しないといけないのか。立体交差化を待っていては遅いので、先に橋をつくってはいけないのか。このままでは、多くの人が亡くなるような事故が起こらないと動かないのではないかと思えてくる。何故そこまで西武鉄道のことを待たなければいけないのか。

委員

西武鉄道が主ではなく、区としてどうするのかを我々は聞きたい。

学校再編・地域連携担当課長

教育委員会としては、当然つくって欲しいというスタンスである。立体交差化が何年先になるか分からないので、区が跨線橋か地下通路の工事をして、立体交差化が決まった時に撤去すれば良いという考え方もあるが、区の判断として、まだそれができていない。

委員

区としては、一度つくって壊すのは無駄になるという考えもあるのかもしれないが、立体交差化まで何十年かかるか分からないので、やはり計画的に示してほしい。区は、この問題を軽く見ているのではないか。

委員長

今の段階では、どうしようもないので、踏切の警備はしっかりやっていただきたい。

学校再編・地域連携担当課長

踏切の課題は、決して軽く扱っているということではなく、議論を進めている。この統合委員会の意見も伝えていきたい。

委員長

ほかに何かあるか。

委員

学校跡地の使い方はどうなっているのか。

学校再編・地域連携担当課長

ほかの部署の案件になるため、情報は改めて共有する。

委員長

次回の統合委員会は令和6年2月に開催予定である。本日の統合委員会はこれをもって終了する。